

## にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用した研究・事業

①研究課題名	糖尿病関連腎臓病透析導入ハイリスク症例への個別栄養指導が腎アウトカムへ与える影響
②研究責任者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座 特任講師 蒲澤 秀門
②対象者	新潟県と協定を締結した国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者のうち、特定健康診査を受診した者
③概要	2020年8月～2024年7月までに特定健康診査を受診した、新潟市国民健康保険介入者、もしくは75歳以上90歳未満の新潟県後期高齢者医療制度加入者のレセプトデータ、健診データ、新潟市重症化予防事業における個別栄養指導への参加状況に関するデータを取得し、病院やかかりつけ医で実施している栄養指導もしくは新潟市で独自に施行されている個別栄養指導が必要と考えられる対象に対してどの程度行われているか実態調査と、その効果の検証を行うとともに、栄養指導を行う施設の立地条件が栄養指導実施率に影響を与えるかについても検討するもの。
④申請番号	25-003
⑤研究の目的・意義	<p>本研究の主目的は、新潟市が取り組んでいる糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果を検証することである。本研究の結果を検討することにより、県全体で実施されている糖尿病性腎症重症化予防プログラムが、本県における重症化予防に寄与しているかを明らかにする一助となることが想定される。これにより、県民の健康づくりの推進、特に生活習慣病の発症・重症化予防に寄与すると考えられる。</p> <p>さらに本研究では、かかりつけ医に通院中の患者が、どのような機会や場所で栄養指導を受けているのか、また居住区域によっては栄養指導を受けにくい環境に置かれている患者が存在するのかについても検討する。この検討から得られる結果は、地域で安心して医療を受けられる体制の整備、特に地域の医療ニーズに対応できる体制の構築を検討する上で、重要な情報をもたらすと考えられる。</p>
⑥研究期間	「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」データ活用審査会承認後～2027年3月31日
⑦情報の利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>解析内容</p> <p>①新潟市糖尿病性腎症重症化予防事業対象者の栄養指導受診率の調査</p> <p>②栄養指導実施場所の調査（病院、かかりつけ医、新潟市個別栄養指導）</p> <p>③-A 栄養指導実施状況別の腎アウトカム</p> <p>期間中に複数回の健診受診者を対象とし、期間中最も古い特定健康診査のデータと最も新しいデータ（CKDステージ、尿蛋</p>

	<p>白、eGFR) が、栄養指導の有無別で改善が認められるか検討する。</p> <p>③-B 栄養指導実施状況別の副次アウトカム      期間中最も古い特定健康診査のデータと最も新しいデータが、栄養指導の有無別で改善が認められるか検討する。      データは、体重、収縮期血圧、拡張血圧、HbA1c、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、総コレステロール、尿酸とする。</p> <p>④自宅から、医療機関までの距離、栄養指導を受ける施設までの距離が、栄養指導受診行動に与える影響の検討。      4-1. 対象者が住んでいる居住区ごとの栄養指導受診率の検討      4-2. 自宅から医療機関までの距離が与える栄養指導の受診率を検討する。      自宅からかかりつけ医までの距離と栄養指導受診施設までの距離について、郵便番号を用いて推定値を算出する。自宅から医療機関、栄養指導実施施設までの距離と受診率自宅の場所は郵便番号の区域内の中心点を代表値とする。この地点から医療機関までの直線距離、車での移動時間を google map (<a href="https://www.google.co.jp/maps/">https://www.google.co.jp/maps/</a>) を使用して算出する。</p>
<p>⑧利用または提供する情報の項目</p>	<p>以下のデータについて、提供を受ける。</p> <p>①試験期間中に保険請求された栄養指導（入院、外来）      ②新潟市重症化予防事業における個別栄養指導への参加状況      ③普段通院している医療機関（病院か、かかりつけ医か）      ④栄養指導が実施された医療機関      ⑤参加者の居住地域（居住者の郵便番号）      ⑥特定健診時のデータ      身長、体重、収縮期血圧、拡張期血圧、空腹時または随時血糖、HbA1c、尿蛋白、尿潜血、血清クレアチニン、eGFR、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、総コレステロール、血清総蛋白、尿酸、喫煙、糖尿病診断年齢、網膜症の有無、冠動脈疾患の既往、CKD 診断年齢、認知機能</p> <p>⑦内服状況（ACE 阻害薬、ARB、MRA、SGLT-2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、インスリン、DPP4 阻害薬、スルホニル尿素薬、グリニド、メトフォルミン、イメグリミン、ピオグリタゾン）      ※②、⑥は新潟市から、①、③、④、⑤、⑥、⑦は「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」より提供を受ける。</p>
<p>⑨利用の範囲</p>	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科</p>
<p>⑩お問い合わせ先</p>	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座 特任講師 蒲澤 秀門      TEL : 025-368-9312      E-mail : hkabasawa@med.niigata-u.ac.jp</p>